

ふるさと納税日本一を記念して、ぬことぬっくんの名コンビが1年ぶりに復活！
都城市のお肉と焼酎の本物のうまさをアピールする!?

温水洋一さんによる“盛りすぎ”笑撃動画を公開

2021年11月1日(月)より都城市公式YouTubeチャンネルで公開開始
内田真礼さんがぬこ役で出演する
連続Twitter小説「吾輩はぬこである」も同日よりスタート！

宮崎県都城市は、「2020 年度ふるさと納税受入額日本一」に輝いた都城市のお肉と焼酎のおいしさを PR すべく、「ぬっくん」こと都城市出身の俳優・温水洋一さんと、黒猫の「ぬこ」（声：内田真礼さん）を起用した WEB 動画「真実を伝える広告」篇を制作、11月1日（月）から都城市公式 YouTube チャンネルで公開します。

また同日より、みゃーこのじょう市（都城市）の公式 Twitter アカウント (@NukotoNukkun) では 12月31日（金）までの期間限定で、「ぬこ」を主人公にした連続 Twitter 小説「吾輩はぬこである」を「ぬこ」（声：内田真礼さん）とともにお届けいたします。



「真実を伝える広告」篇より

WEB 動画概要

タイトル	「真実を伝える広告」篇
出演	ぬっくん（温水洋一）、ぬこ（声：内田真礼）
公開開始日	2021年11月1日（月）10時
公開 URL	都城市公式 YouTube チャンネル 「真実を伝える広告」篇： https://youtu.be/8EQ3IxCbvRY 「真実を伝える広告」篇メイキング： https://youtu.be/AdyUhXyatOY ※ 動画本編に加えて、盛りすぎ動画の制作裏側を描いたメイキング映像も同時公開

コンセプト

WEB動画「真実を伝える広告」篇は、「2020年度ふるさと納税受入額日本一」の称号をいただいた都城市のお肉や焼酎をはじめとする特産品のおいしさが「本物（日本一）」であると、あらためて全国の皆さんに知っていただくことをコンセプトとして企画・制作を行いました。キャストは、昨年のシティープロモーションでご好評をいただいたWEB動画および漫画コンテンツ「ぬことぬっくん」に引き続き、都城市出身の温水洋一さんが「ぬっくん」として、黒猫の「ぬこ」と共に出演。「ぬこ」の声も前作同様、声優の内田真礼さんを起用しています。

温水さんとぬこ（声：内田真礼さん）が出演するコンテンツは非常に人気が高く、昨年立ち上げたTwitter公式アカウントはフォロワー数1万を超え、Twitterや都城市にも再登場を要望する声が多く寄せられていました。

ストーリーと見どころ

本WEB動画では、あえて盛りすぎな演出をすることで、「都城市のお肉と焼酎のおいしさが本物」であることを訴求しています。映像は、豪華な衣装に身を包んだモデルが眼光鋭い黒ヒョウと共にたたずむ、ハイブランドのポスターのような世界観からスタート。『「2020年度ふるさと納税受入額日本一」らしく、ゴージャスなビジュアルを制作した』ようにも見えますが、コンピュータの画像加工ソフト画面に切り替わった瞬間、見る見るうちに華やかな空間が親しみやすい様子へと変化していきます。黒ヒョウは可愛らしい猫に、重厚感あるカーテンは生活感たっぷりのチェック柄に、そしてモデルは「ぬっくん」と温水さんに！

実は、温水さんを写した最後のカットが「真実」で、冒頭の華やかな世界観は、コンピュータで加工した“盛りすぎ”画像だったのです。実はこの映像で変わっていないものが2つあります。それは、テーブルの上に置かれた宮崎牛のお肉と2本の焼酎。そう、都城市のお肉と焼酎のおいしさは「本物」だったのです。

内田真礼さん演じる「ぬこ」のナレーションと、数日間にわたる画像加工作業の様子を収録し、その工程をわずか8秒に圧縮しながら逆再生したダイナミックな映像にもご注目ください。

撮影エピソード

- ◆スタジオ入りした温水さんは企画について説明を受けるなか、ギャップがある「完成予想写真」を見て一瞬たじろぎながらも、すぐに気を取り直してカメラの前へ。平静を装いながらヒョコを肩に乗せ、スタンバイしました。
- ◆テーブルに焼酎とお肉が登場すると、温水さんはちょっとソワソワ。焼酎は温水さんが大好きな黒霧島と赤霧島、今回使用したお肉は100g当たり2,000円という都城産の宮崎牛サーロイン！（※購入価格）温水さんは迫力満点の牛肉を横目で眺めつつ撮影開始を待ちました。
- ◆約1年ぶりの共演となる「ぬこ」役のススちゃんが到着すると、温水さんは再会を喜びながらスキンシップ。久々の対面に表情が硬かったススちゃんもスタッフが驚くほど早く緊張が解け、温水さんの膝の上でまったりと過ごしました。
- ◆温水さんのポーズが決まるといよいよ撮影スタート。ススちゃんのご機嫌もよく、撮影は予定時刻より早く終了しました。撮影を終えた温水さんは自身の写真と「完成予想写真」を見比べ、笑みを浮かべていました。



ストーリーボード 「真実を伝える広告」篇



#01

ぬこ)
こんにちは、
みゃーこのじょう市の、



#02

ぬこ)
ぬこです。
2020年度の、



#03

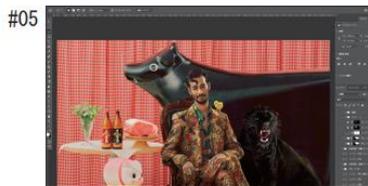
ぬこ)
ふるさと納税日本一になったので、

title:
2020年度 ふるさと納税日本一 都城市
注釈:
・お酒は20歳になってから
・※令和2年度ふるさと納税受入額全国1位
総務省 R3. 7. 30



#04

ぬこ)
それっぽい広告にしてみました、



#05

ぬこ)
広告は・・・



#06

ぬこ)
広告は・・・



#07

ぬこ)
広告は・・・



#08

にゃ～



#09

ぬこ)
真実であるべきです。



#10

title:真実



#11

ぬこ)
都城市のお肉と
焼酎のうまさは真実です。



#12

ぬこ)
2020年度、



#13

ぬこ)
ふるさと納税日本一。
title:
・焼酎 日本一
・2020年度 ふるさと納税 日本一
・肉 日本一
注釈:※ 1



#14

ぬこ)
みゃーこのじょう市
title:
日本一の肉と焼酎のふるさと
都城市
注釈:※ 1



#15

※ 1
注釈:
・※出典: 帝国データバンク 焼酎メーカー売上高ランキング R3. 8. 24
・※令和2年度ふるさと納税受入額全国1位 総務省 R3. 7. 30
・※出典: 令和元年 市町村別農業産出額全国1位 農林水産省 R3. 6. 15
・※出典: 全国和牛登録協会発表 H29. 9

温水洋一さんインタビュー

● 昨年に引き続き「ぬっくん」役として WEB 動画に出演された感想をお聞かせください。

去年に引き続き、「ぬこ」と「ぬっくん」という企画でお話をいただいて、今年も「ぬこ」役のススちゃんと 会えるんだといううれしさが込み上げてきました。猫は成長が早いから、もうちょっと大きくなってるとかと思いましたが、去年と同じように「ぬこ」の役作りをしているススちゃんという感じでした。スタッフの方に、「同じススちゃんですよ？」って聞いたら、一緒だと教えてもらえて。去年とまったく同じ、演技のうまい猫ちゃんでした。

● ユニークな企画・演出が特長的な WEB 動画ですが、初めて内容を聞いた時の感想を教えてください。

とても面白い企画、演出だと思いました。ちょっとクスッと笑えるような演出になっていて…僕はまだ完成した映像を見ていませんが、想像が膨らみますね。動画が公開される時には、きっと期待以上の作品に仕上がっていると思います。モデルさんが僕に変わるという演出ですが、テレビなどでご覧いただく僕のイメージを起用していただけて、すごくうれしいです。

● 都城市はふるさと納税受入額日本一ですが、温水さんがご自身で日本一だと思うところがありますか？

自分の自慢で日本一ということはないですけど、昔、『新橋でお酒を飲んでいる役が似合う俳優』というランキングで 1 位になったことがあります（笑）。小さな屋台とか赤ちょうちんで、独り寂しく飲んでそうな俳優としては、日本一なんだろうなと思ってます。そういうイメージですが、名前を挙げていただけたことがとても嬉しかったです。最近は大勢でお酒を飲んだりできないですけど、おつまみをつまんで楽しく飲むのは好きですね。宮崎の地鶏がメニューにあつたら真っ先に頼みますし、焼酎も地元、都城の霧島酒造さんの黒霧島を置いてあるお店が多いので、芋焼酎のロックを頼みますね。

● 温水さんの出身地でもある、都城市の魅力を教えてください。

人の温かさ、何よりも、食べ物おいしいですね。焼酎も日本一だし、畜産が盛んなので牛、豚、鶏、それから鶏卵も生産しています。野菜もお茶も有名ですね。冬場は盆地なので寒さが厳しいけど、それが逆においしいものを生むような気候になっているんだと思います。帰るたびに「いい町だなあ」って実感します。

● 動画をご覧になる方にメッセージをお願いします。

去年に引き続き、「ぬこ」と「ぬっくん」という組み合わせで、都城市の WEB 動画に出演させていただきます。現場のすごく楽しい雰囲気が伝わっていると思いますので、ぜひ見てください。よろしくお願いします。

内田真礼さんインタビュー

● 昨年に引き続き「ぬこ」役の声優として WEB 動画に出演された感想をお聞かせください。

去年の都城市さんのキャンペーンでぬっくんとぬこにすごく愛着が湧いて、終わってしまったことがけっこう寂しかったので「また会えないかなあ」と思っていました。このお仕事が入ったときに「やったー！また会えるのね」という気持ちで、楽しみにしていました。ぬこと温水さんが一緒にいるのを見てうれしい気持ちでいっぱいでした。

● 内田さんは「ぬこ」を演じる際、どんなイメージで声を出していますか？

猫は、基本的にマイペースで、我が道を行くというか、自分の好きな時にかまってもらえたらいい、というイメージがあると思います。ぬこもそういう気まぐれなところが出せたらいいなと思っていたので、基本的には「ぬっくんがいなくて寂しいな」と聞こえないように、のらりくらりと、あまり感情を表に出さない感じを意識しました。人が出てくるシーンでは、ぬこがその人のマネをしているように聞こえたらいいなと思い、絶妙なところですが、ぬこはあまりモノマネ上手じゃないだろうな、マイペースで人に何を言われてもあまり変わらないだろうな、と私が思うぬこのイメージを大事に演じました。

● 動画をご覧になる方にメッセージをお願いします。

今年もこの季節がやってきました。本当におもしろい仕上がりになっています。最初は、何が何だかわからないかもしれませんが、短いなかに驚きの展開が待っているの、ぜひ、楽しんで見ていただきたいです。

Twitter 小説について

連続 Twitter 小説「吾輩はぬこである」を、ぬこ（声：内田真礼さん）とともにお届け！

11月1日（月）から12月31日（金）の期間、みゃーこのじょう市（都城市）の公式 Twitter アカウントで、連続 Twitter 小説「吾輩はぬこである」を連載します。

同小説は、「ぬっくん」と一緒に暮らす黒猫「ぬこ」の目線で描く物語で、ある日置き手紙を残して姿を消した「ぬっくん」を探すために、「ぬこ」が家を飛び出して都城市を歩き回ります。ぬっくんが消えた理由とは、ぬっくんはどこに行ったのか。「ぬこ」の声を演じる内田真礼さんのナレーションとともに毎日お届けしますのでご期待ください。



タイトル	連続 Twitter 小説「吾輩はぬこである」
登場人物	ぬこ、ぬっくん（失踪中）
投稿期間	2021年11月1日（月）～12月31日（金）
投稿時間	毎日11時30分予定 ※予告なく変更となる可能性があります
投稿アカウント	みゃーこのじょう市(都城市)の公式 Twitter アカウント @NukotoNukkun